

1186

陸

第十二師團

第十二師團司令部 副密第六九號

滿洲派遣第十二師團輸送ニ關スル規定ノ件報告

昭和十一年四月二日 第十二師團長 清水喜重

陸軍大臣 伯爵 寺内壽一殿

首題ノ件別冊ノ通り定メタルニ付報告ス

陸軍省 陸滿機密文第三一號

11.4.7

陸軍

五八

(日本標準規格JIS-5)

2811

甲

配布區分票

昭和十一年 四月 二日

(陸軍大臣)

一 滿洲派遣第十三師團輸送ニ関スル規定

配布先

自第 至第

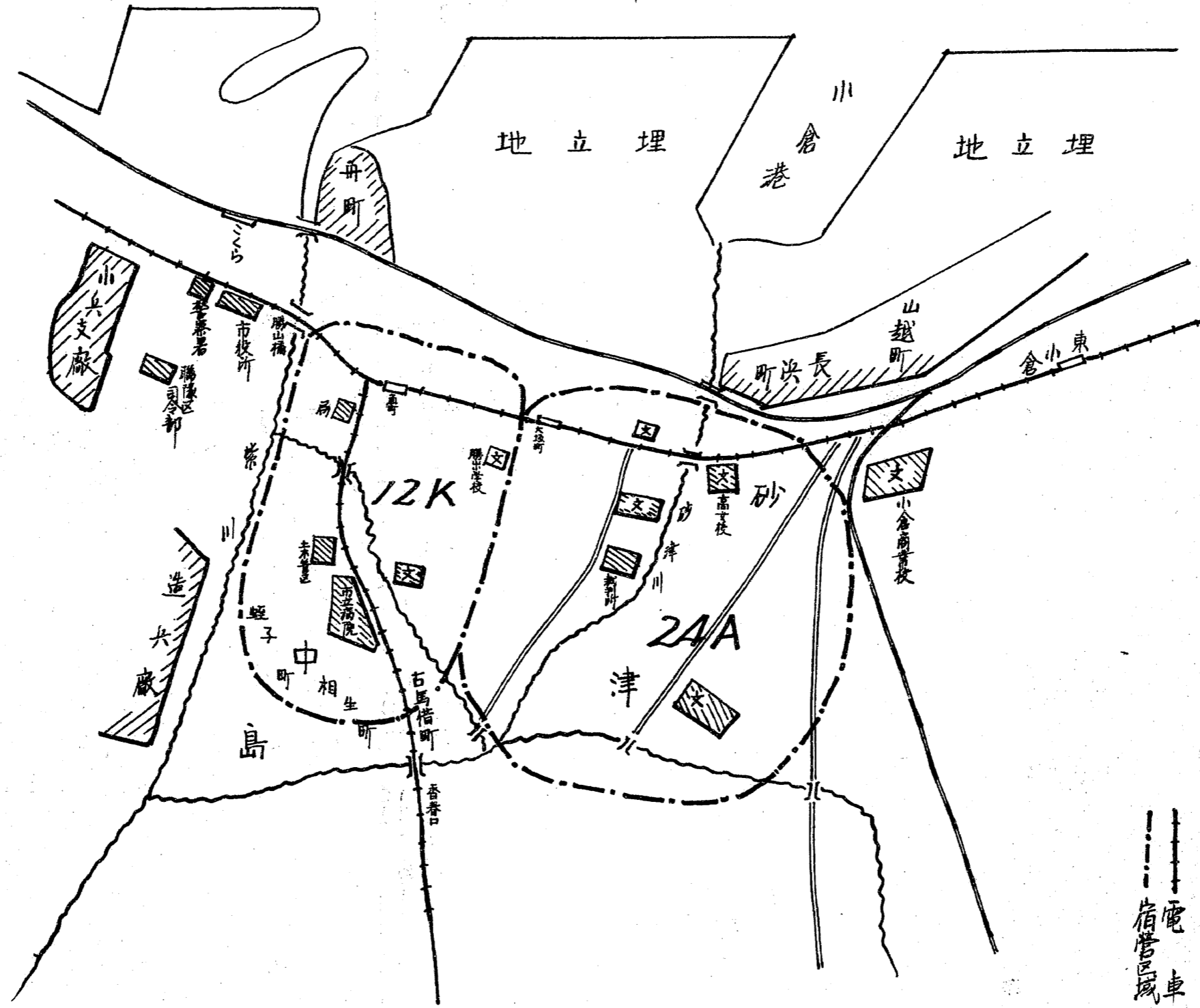
號 號

部

本票ハ此處ヨリ分載シ直接交付ヲ受ケタル應ニ保管シ置クコト

1147

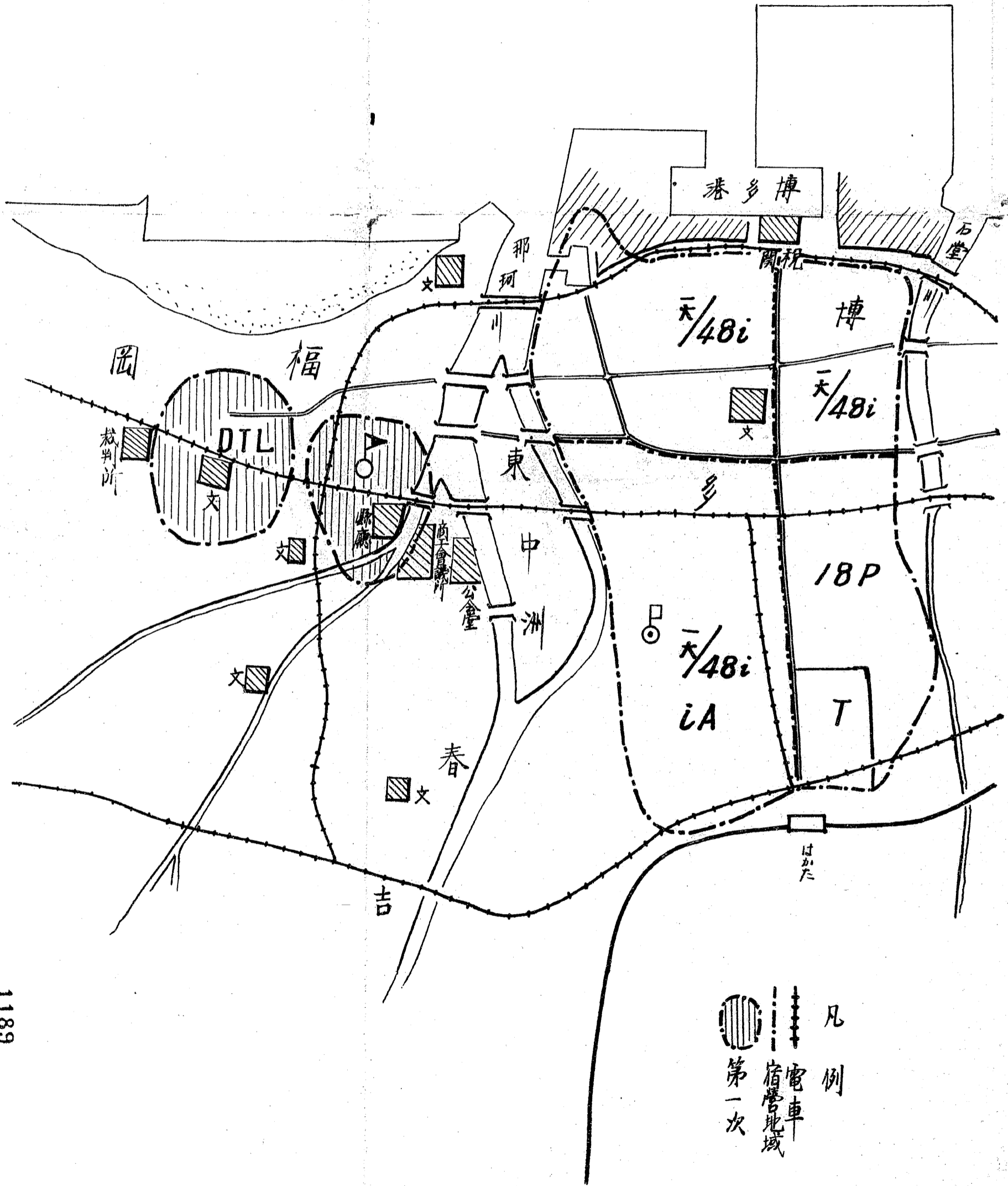
# 小倉各部隊宿營要圖



附圖第一

福岡市各部隊宿營要圖

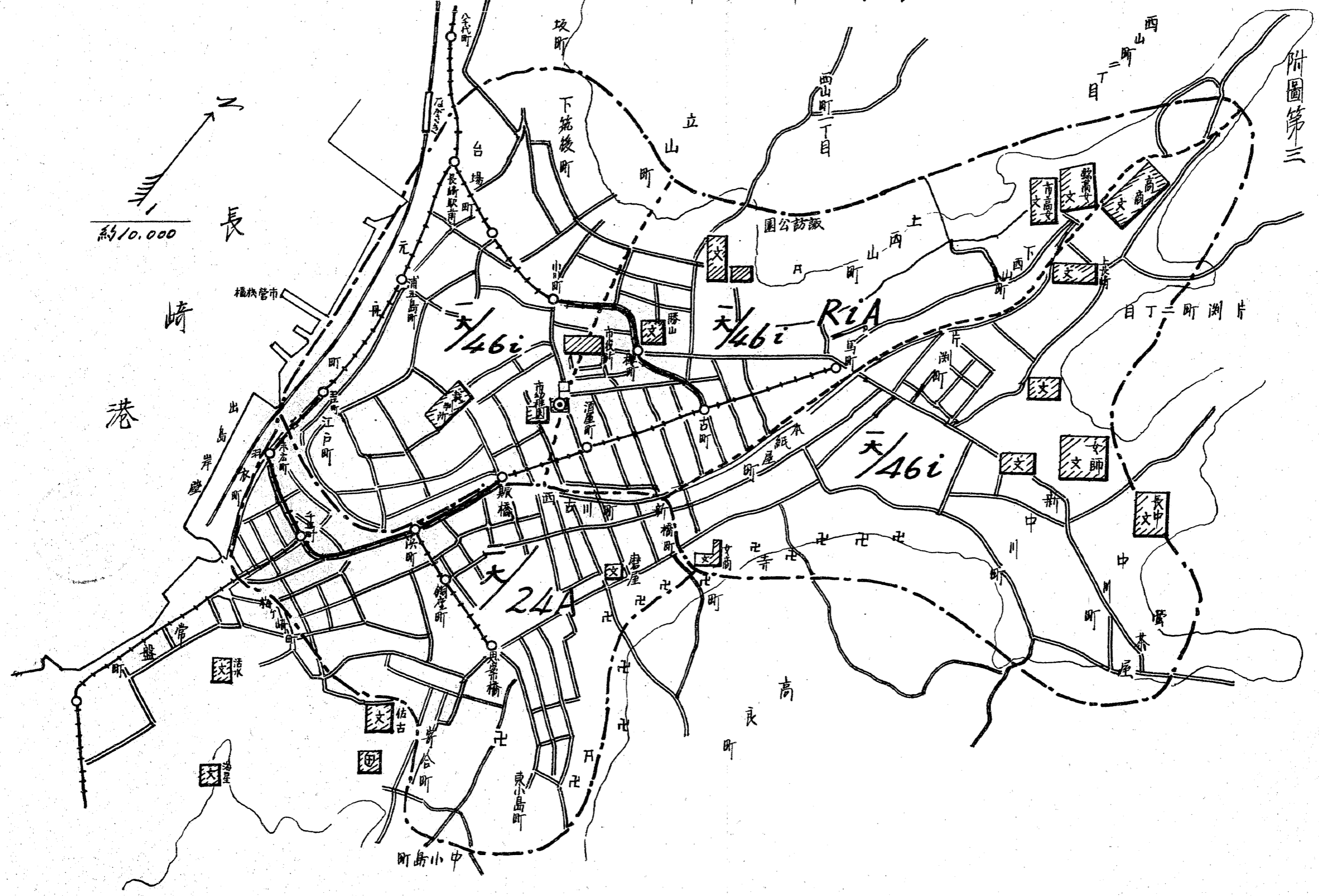
附圖第三



1189

1190

# 長崎市各部隊宿營要圖



附圖第三

1191

軍事機密

第一連  
番號

一

紙數壹八枚  
附表壹參枚  
附錄參枚

第十二師參編第七八號  
團司令部

滿洲派遣第十二師團轉送之關於規定

第十二師團司令部

第十二師 參編第七八號  
團司令部

滿洲派遣第十二師團輸送ニ關スル規定ノ件達

關係各部隊

滿洲派遣第十二師團輸送ニ關スル規定本冊ノ通り定ム

昭和十一年四月一日

第十二師團長 清水喜重

滿洲派遣第十二師團輸送ニ關スル規定目次

第一章 總則

第二章 輸送

第三章 勤務員

第四章 宿營

第五章 警戒其他

附表 附圖 附錄

附表第一其一 內地鐵道輸送概見表

同 其二 船舶輸送概見表

同 第二其一 朝鮮及滿洲鐵道輸送希望順序一覽表

同 其二 第十二師團輸送ニ基ク輸送概見表

同 第三 乘船上陸地點圖及運入人名表

同 第四 第一次輸送部隊ニ關入スヘキ特定人員表

同 第五 師團通信隊無線電信手續履人員表



- 同 第六 家畜市場司令部設置位置及要員差出區分表
- 同 第七 乘船進入馬救護所委員差出區分表
- 同 第八 其一 朝鮮鐵道臨時停車場司令部編成配置一覽表
- 同 同 其二 滿洲鐵道臨時停車場司令部編成配置一覽表
- 附錄 第一 小倉市宿營要圖
- 同 第二 瀧岡市宿營要圖
- 同 第三 長崎市宿營要圖
- 附錄 第六 海關手續
- 同 第二 輸送

滿洲派遣第十二師團輸送ニ關スル規定

第一章 總則

第一條 本規定ハ第十二師團派遣ニ關スル規定ト略稱ス 第五十二條ニ依リ輸送及宿營等ニ關シ規定スルモノトス

第二條 本規定ニ規定セサル事項ニ關シテハ師團規陣中要務令、渡滿參考書、關東軍輸送規定、朝鮮軍鐵道輸送規定、運輸部輸送規定其他關係諸條規ヲ準用スルモノトス

第二章 輸送

第三條 派遣輸送ノ爲輸送處理官ヲ左ノ如ク定メラル

參謀本部第三部長

海上輸送 運輸部長

朝鮮鐵道輸送 朝鮮軍司令官

滿洲鐵道輸送 關東軍司令官

第四條 内地鐵道及海上輸送ノ要領附屬第三條一ハ、二ノ如シ

第五條 朝鮮及滿洲鐵道ノ鐵道要領附表第三第一、其二人如シ

第六條 乘船上陸地師團派遣員附表第三ノ如シ

乘船地師團派遣員ハ下車驛（鐵道端必ヲ行ハサル部隊ニ在リテハ車營）ヨリ恰載場所ニ至ル間ニ於ケル材料何物等ノ輸送ヲ統制スルモノトス

之カタメ各隊ハ豫メ運搬ニ關シ所安ノ區處ヲ定クルモノトス

第七條 第一次輸送部隊ニ編入スヘキ符定人員附表第四ノ如シ

第八條 配置直後ノ無線通信ノ爲輸送當初ヨリ各部隊ニ編入スヘキ無線通信手並器材附表第五ノ如シ

第九條 乘船地師團派遣員ハ四月八日同十四日午後乘船地運輸部出張員ト密ニ連絡シ其結果ヲ輸送指揮官ニ傳ヘ又午後五時以後適宜ノ時機ニ於テ搭載ニ關シ打テヲ行フモノトス

第十條 上陸地師團派遣員ハ師規第五十五條ニ示ス外上陸地宿營

間ニ於ケル警戒、鐵道輸送ニ關シ各部隊ニ所要ノ區處ヲナ  
スコトヲ得

上陸地師團派遣員ハ關係鐵道線區司令部員（停車場司令官）ト  
密ニ連絡シ部隊配屬順序ニ順應スル如ク輸送ヲ處理セシムルコ  
トニ勉ムルモノトス

第三章 勤務員

第十一條 停車場司令部設置位置及要員附表第六ノ如シ

第十二條 乗船地救護所設置位置及要員附表第七ノ如シ

第十三條 小倉及福岡屯在部隊ハ師規第五十七條ノ勤務員ヲ派遣  
スルニ及ハス

第十四條 朝鮮及滿洲鐵道輸送間ニ於ケル臨時停車場ノ設置位置  
附表第八其一、其二ノ如シ

第四章 宿營

第十五條 乗船地ニ於ケル宿營要領如圖第一乃至第三ノ如シ

其細部ニ關シテハ師團派遣員ノ區處ヲ受クルモノトス

第十六條 乘船地師團派遣員ハ下車停車場等要所ニ兵ノ宿舍及救護所ノ位置ヲ標示スル外輸送各部隊ニ傳へ連絡ニ使ナラシムルモノトス

#### 第五章 警戒其他

第十七條 乘重乘船地關係衛戍司令官（長崎ニ在リテハ長崎要塞司令官）ハ係各部隊地方官憲ト連絡シ電機ノ保護、秩序ノ維持、危險ノ豫防等ニ關シ所要ノ規定ヲナスモノトス

第十八條 乘船地ニ宿營スヘキ各部隊ハ前條ニ關シ所要ノ區處ヲ受クルモノトス

第十九條 上陸地ニ於ケル警戒ニ關シテハ該地師團派遣員ノ區處ヲ受クルモノトス

第二十條 滿洲國內鐵道輸送間各輸送指揮官ハ匪賊不逞ノ害ニ對スル警戒ヲナラシムルト共ニ萬一ニ處スル對策ヲ準備シテ

## クモノトス

第二十一條 小倉及博多驛（鐵道輸送ヲ行ハサル部隊ニ在リテハ屯營）ヨリ乘船地ニ至ル材料荷物ノ運搬ニ方リテハ其ノ運搬機關ノ徵用配當、輸送順序、經路、集積ニ就キテハ乘船地師團派遣員之レヲ統制區處スルモ其ノ運搬費ハ各隊毎ニ支拂フモノトス

上陸地ニ於テモ亦右ニ準ス

第二十二條 輜重兵第十八大隊第二中隊ハ第二次輸送ノ際博多ニ於ケル前條輸送ニシ師團派遣員ノ區處ヲ受ケ之レニ協力スルモノトス

内地鐵道輸送概見表

第十二師團

考 備	第 一 次														第 二 次													
	日 八 月 四														日 十 月 四													
一時刻、下二横線ヲ引ケルハ午後ヲ示ス 二運搬担任ハ左ノ如シ 屯營ト乘車駅 下車駅ト乘船地 三野砲兵第二大隊ハ人員ヲ長崎駅ニ下車セシメ材料馬匹ハ長崎港ニテ下車セシムルコトナラズ	輸送部隊	騎兵第十二聯隊	第十二師團司令部	師團通信隊	野砲兵第三聯隊本部	野砲兵第四大隊	野砲兵第三大隊	野砲兵第一大隊(第五中隊)	野砲兵第五中隊	野砲兵第二大隊(第五中隊)	野砲兵第二中隊	步兵第三旅團司令部	步兵第四十八聯隊本部	步兵第四十八聯隊第三中隊	工兵第十八大隊	輜重兵中隊	步兵第四十八聯隊	步兵第三大隊(附隊)	步兵第四十六聯隊本部	步兵第一大隊(第三中隊)	全	全						
	二等車	四	四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一				
馬積荷積蓋	七	二	五	一	四	三	四	一	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二				
出發時刻	8:58	9:50	10:55	11:20	8:58	9:50	10:55	11:20	8:58	9:50	10:55	11:20	8:58	9:50	10:55	11:20	8:58	9:50	10:55	11:20	8:58	9:50	10:55	11:20				
到着時刻	10:02	10:55	11:50	12:20	10:02	10:55	11:50	12:20	10:02	10:55	11:50	12:20	10:02	10:55	11:50	12:20	10:02	10:55	11:50	12:20	10:02	10:55	11:50	12:20				
摘 要	人員ハ長崎駅ニテ下車ス(十分間ニ終ラズ)トス 材料馬匹ハ長崎港ニテ下車ス(十分間ニ終ラズ)トス 人員ハ長崎港ニテ下車ス(十分間ニ終ラズ)トス 材料馬匹ハ長崎港ニテ下車ス(十分間ニ終ラズ)トス														人員ハ長崎港ニテ下車ス(十分間ニ終ラズ)トス 材料馬匹ハ長崎港ニテ下車ス(十分間ニ終ラズ)トス 人員ハ長崎港ニテ下車ス(十分間ニ終ラズ)トス 材料馬匹ハ長崎港ニテ下車ス(十分間ニ終ラズ)トス													

附表第一其二

船舶輸送概見表 第十二師團

備考	第二 次				第一 次				順序						
	日 六 十 日 五 十 月 四				日 十 日 九 月 四				搭載日						
	長 崎		博 多		小 倉		博 多		搭載地						
一、材料馬匹八九日十五日搭載、人員二十日十六日搭載スルモノトス 二、出帆八日及十六日概、午前十時三十分頃トス 三、乗船地ニ於テ泊ス	織 殿	東 岡	吉 田	第 三	平 榮	第 七	盛 運	織 殿	東 岡	吉 田	第 三	平 榮	第 七	盛 運	船 別
	歩兵第四十六聯隊第一大隊 野砲兵第三十四聯隊第一大隊				歩兵第四十六聯隊第一大隊 野砲兵第三十四聯隊第一大隊				師團通信隊 歩兵第三十四聯隊第一大隊及歩兵砲隊 野砲兵第三十四聯隊第一大隊 歩兵第十四聯隊第一大隊 野砲兵第三十四聯隊第一大隊 歩兵第十四聯隊第一大隊 騎兵第十二聯隊				輸 送 部 隊		
	連				火				山 馬 鮮 朝				揚 子 江 揚 子 江		
	日 十 二 月 四				日 十 九 月 四										

1201



朝鮮及滿洲鐵道輸送希望順序一覽表

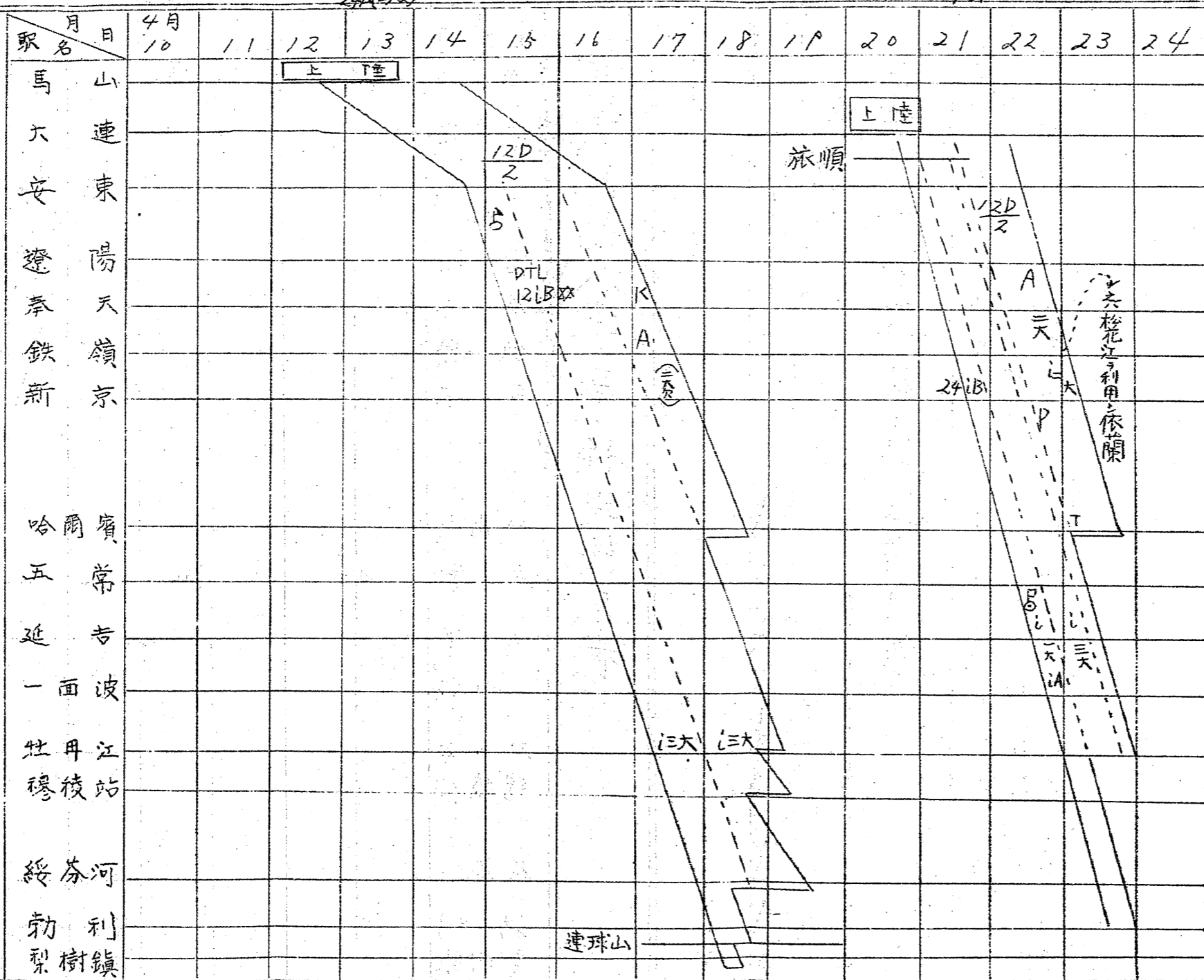
考 備	第 二 次		第 一 次		順 序 場 陸 地 場 陸 日	
	大 連		山 馬 鮮 朝			
一本表ハ朝鮮及關東軍ニ出シタル希望ニシテ若干変更アルベシ	日 十 二 月 四		日 三 十 月 四	日 二 十 月 四	日 陸 地	
	工兵第十八大隊 輜重兵中隊 歩兵第四十六聯隊第一第三大隊 野砲兵第二十四聯隊第一第二大隊		歩兵第二十四旅團司令部 歩兵第四十六聯隊(工五欠) 歩兵第四十八聯隊	野砲兵第二十四聯隊(工五欠) 騎兵第十二聯隊 歩兵第二十四聯隊第二大隊及歩兵砲隊 歩兵第十四聯隊第一第三大隊 騎兵第十二聯隊 師團司令部 師團通信隊	歩兵第二十四聯隊(工五欠) 歩兵第十四聯隊(工五欠) 歩兵第十三旅團司令部 師團司令部 師團通信隊	鐵 道 輸 送 輸送部隊及順序
	日 一 十 二 月 四		日 十 二 月 四	日 三 十 月 四	日 二 十 月 四	日 乘 車
	宿泊ス 二十一日乘車ノモノハ大連ニ 他ハ牡丹江經由トス		歩兵第四十六聯隊第一第三大隊 野砲兵第二十四聯隊第一第二大隊ハ哈爾賓行其 他ハ牡丹江經由トス	十三日乘車ノモノハ船内ニ 宿泊ス	騎兵第十二聯隊、野砲兵第二十四聯隊(工五欠)ハ哈爾賓行其他ハ牡丹江經由トス	摘 要

1203

第一次  
DTL  
12LB  
24L  
14K  
12K  
24K (大)

第二次  
24LB  
48L  
48L  
18P  
18T

第十二師團派遣二基ノ輸送概見表



備考

1. 本表ノ日次ハ多少変更スルコトアリ
2. 經由線
  - イ 東部国境方面部隊  
連京線 京圖線 圖佳線  
濱綏線 (穆稜線)
  - ロ 依蘭方面部隊  
依蘭 哈爾賓間ハ松花江ハ  
路ニ依ル
  - ハ 12D, K, A 部隊  
哈爾賓 牡丹江間  
拉濱線 京圖線 圖佳線
3. 途中ニ於ケル宿營ハ大連 閩東  
倉庫ヲ利用スルモトス

附表第三其二

附表第三

乘船上陸地師團派遣人名表

順次	乘船(陸地)	幕僚	兵器部	経理部	軍医部	獣医部
小倉	松田参謀 石田軍曹	井上少佐	眞田主計正 岩浅計午	山本軍医 中村獣医		
博多	亀田副官 原野軍曹	日野少佐	古田主計 三村計午	石井軍医正 角田獣医		
馬山	鈴木参謀 久保田曹長		和田計午			
博多	武田参謀 吉富曹長	井上少佐	古田主計 三村計午	山本軍医 中村獣医		
長崎	亀田副官 松下軍曹	日野少佐	田口主計 千歳計午	石井軍医正 角田獣医		
大連	松田参謀 田中曹長		佐藤計午			

一、業務實施ニ方リテハ幕僚ノ區處ヲ受クルモノトス  
 二、輸送請求表本規定其他必要諸規定書類ヲ携行スルモノトス

附表第四

第一次輸送部隊ニ編入スル特定人員表

種別	職階	隊	將校	准官	下官	兵	輸送担任部隊	備考
第二次輸送	歩四六	II	-	-	-	一〇	師團司令部	工ハ勃利 工ハ通河トス
部隊正副	歩四八	II	-	-	-	一四	野二四	吟市ニ至ル
受領要員	歩一八	大隊	-	-	-	一〇	野二四	東寧ニ至ル
陣地守備要員	野二四	聯隊	-	-	-	五二五	野二四	東寧ニ至ル
偵察班要員	工一八	大隊	-	-	-	二一六	野二四	東寧ニ至ル
陸地守備要員	野二四	聯隊	-	-	-	五二五	野二四	東寧ニ至ル
第二次輸送	歩四六	聯隊	-	-	-	六三四	野二四	東寧ニ至ル
第二次輸送	歩四八	聯隊	-	-	-	三	野二四	東寧ニ至ル
部隊先遣	工一八	大隊	-	-	-	三	野二四	東寧ニ至ル
暗探修業要員	騎一ニ	聯隊	-	-	-	一	野二四	東寧ニ至ル
備考	歩四六及佐加員分屯大隊ノ者ハ乗船地ニ於テ輸送担任部隊ニ	-	-	-	-	-	野二四	東寧ニ至ル

師團通信隊無線通信手配屬人員表

配屬部隊	人員		職務		下士官	兵	器材材料
	下士官	兵	電信所位	置			
歩兵第四聯隊	二	四	東	寧	一	二	九四式三号乙無線機一 附屬材料消耗品共
歩兵第三聯隊	一	六	梨樹	鎮		二	九四式三号乙無線機一 附屬材料消耗品共
歩兵第四十六聯隊	一	四	勃	利	一	二	九四式三号乙無線機一 附屬材料消耗品共
			通	河		二	

停車場司令部設置位置及要員差出區分表

考	備	第二			第一			順次	設置停車場	差出部隊	人員		摘	要	
		長	大	博	小	博	久				將	下士官			
		崎	村	多	倉	多	米	一	野重六	野重五	独山三	久留米	戰	一	
		步四六留	步四六留	步二四留	野重五	野重六	戰	一	砲佐 岩元行衛	砲佐 野口靜雄	砲佐 立川多郎	砲佐 大橋清志	砲佐 秋田照	砲佐 岩元行衛	
		○歩佐 寺町俊一 ○歩尉 柳瀬良平	○歩尉 田添廣次	○歩尉 曾根崎嚴	○砲尉 小林繁	○砲尉 秋田照	○砲尉 井上弘	○砲尉 井上弘	○砲尉 井上弘	○砲尉 井上弘	○砲尉 井上弘	○砲尉 井上弘	○砲尉 井上弘	○砲尉 井上弘	
		計手 一	計手 一	計手 一	計手 一	計手 一	計手 一	計手 一	計手 一	計手 一	計手 一	計手 一	計手 一	計手 一	
		三上	一上	一上	一上	一上	一上	一上	一上	一上	一上	一上	一上	一上	
		長崎港ニ支部ヲ設ク													

乗船地人馬救護要員差出区分表

考	備	第 二 次		第 一 次		順次乗船地	班 別	差部隊	軍 人	獸 醫	兵	摘要
		長 崎	博 多	小 倉	博 多							
		馬救護班 独山三	人救護班 大病	馬救護班 野重五	人救護班 小病				一獸 増田米一	三醫正 小田倉廣	一 三	
			馬救護班 野重六	馬救護班 野重五	人救護班 小病				一獸 増田米一	三醫正 高橋武男	一 三	
			一醫 長谷川忠三	二獸 芝田哲郎	三醫正 滋川定男					三獸正 高橋武男	一 三	

一人救護班要員ハ各自携帶衛生材料ヲ携行スル外藥劑行李一具赤十字旗及担架一毛布三枚ヲ携行スルモノトス  
 二馬匹救護班要員ハ甲獸醫行李獸醫携帶囊馬療囊各一ヲ携行スルモノトス  
 三師團派遣員ノ指示ヲ受ケ部隊到着前日午後五時迄ニ開設スルモノトス  
 徹收解散ノ時期ハ師團派遣員之ヲ指示ス

附表第八其二

滿洲鐵道臨時停車場司令部編成配置一覽表

臨時停車場司令部	編	成	編成担任官
大石橋	中(少)尉 司令官 一		第一独立守備隊司令官
四平街	曹長(軍曹)(伍長) 四		
新京	上(二)(三)等兵 四		第三独立守備隊司令官
吉林	計 手 一		
敦化	看護長 一		第九師團
哈爾濱			第四独立守備隊司令官
牡丹江	計 一		第三独立守備隊司令官
白城子			
齊齊哈爾			
備考	一、司令官ハ特務曹長ヲ以テ充ツルコトヲ得 二、計手ハ已ムヲ得アレハ鉄ヲコトヲ得 三、給養停車場ヲ兼スルコトアリ		



1210

通關手續

附錄第一  
陸運通關日第一九七八號

昭和八年十二月陸軍省

陸滿普第一九七八號

通關手續配賦件關係陸軍部隊へ通牒

昭和八年五月十四日

陸軍省副官 牛島 満

從來税關検査ヲ受クル方リ不注意ノ為或ハ軍部ノ威信  
 ノ失墜セントシ或ハ軍隊輸送ニ於テ船車連絡ノ圓滑ヲ缺キテ輸  
 送ノ計畫ニ齟齬ヲ來サントセシ例少カラス今後内外ノ往來益々  
 繁キヲ加フヘキニ依リ別冊ヲ參考トシ特ニ遺憾ナキヲ期セラレ  
 度但シ税關官吏ハ作戰命令ニ基キテ軍事輸送ニ際シテハ軍  
 人軍屬ノ行動若ハ船車ノ發着ニ干涉シ又ハ軍需品ヲ抑留  
 スルコトヲ得サルモノナルニ對承知セラレ度

右依命通牒ス

# 第一 税関検査

一 貨物 動植物ヲ含ム 輸入セントスル者ハ關稅法 明治三十五年六月法律第五號 其他

法令ノ定ムル所ニ從ヒ漏レテテ關稅ニ申告シテ其ノ検査ヲ受ケ

免許ヲ受ケサルヘカラス之カ為外地ヨリ内地ニ還送若ハ

揚行スル隊屬貨物、私物品、内地場陸ニ際シテハ右法令

ニ定ムル所ニ從ヒ部隊若ハ單獨旅行者自ラ受檢スルヲ要

ス

二 軍派若ハ陸軍單獨旅行者ハ通關ニ關シ其他陸軍

運輸官衙ヲ介シ交渉スルヲ便ス

三 申告ノ為貨物ヲ隊屬貨物(特ニ梱包シタルモノニ限ル)私物品

(手廻品ヲ除ク)私物手廻品ニ已分シ附表第一乃至第三ニ

準シ品目員數表各一通ヲ揚陸地稅關ニ提出スルモノトス

四 品目員數表中ニ記載シタル一梱包内ノ内容品ト現品

トハ艱難ナカラシムルヲ要ス然ラザレハ検査ハ際ニ税關  
吏ノ疑惑ヲ生シ必要以上多敷ノ検査ヲ要求セラル、ニ  
至ルヘシ

五 検査ハ...テハ隊属貨物、私物品、私物手廻品ヲ区別シ  
且品目別枚表ノ順序ニ配列シ受檢ニ便ナル如クスルノ可キ

六 私物...ハ成ルヘク開梱容易ナル客卷開梱困難ナル物ハ内卷品ヲ明記セルモノナリ

收納...ニ...檢ノ際所要ニ應シ展開シ私物手廻品ハ悉

皆展開シ列シ本人靴袋等之ニ合會フヲ要ス之私物品

私物手廻品...身合ニ應シ免稅數量ヲ異ニスルヲミナラス物

件ノ性質ニ依リ税關吏ニ説明スルヲ要スルエトアレハナリ

七 煙草ハ悉ク上陸地ニ於テ税關證票印ノ押捺ヲ

要ス之ヲ爲シ密閉客卷ニ收容スル場合ハ之ヲ開封シ

且検査證票印押捺容易ナル如ク配列スルヲ可ト  
ス而シテ右税關ノ證票印ヲ受クル煙草ハ自家用  
ニ限ルモノナルヲ以テ検査後他人ニ讓渡スヘカラサルモノトス

明治三十七年十月法律第十號煙草  
專賣法第三十二條第三十四條

ハ税關官吏ハ必要ト認ムルトキハ貨物ノ検査若クハ封  
鎖スルノ職權ヲ有ス關稅法第  
五十八條故ニ税關官吏ノ當該職  
權ノ履行ニ關シ異議ヲ唱フルコトナク其指示要求ニ  
應スルハ全部ノ通關ヲ迅速ナラシムルノ捷路ナリ  
ル輸入貨物ハ税關検査ヲ終了シ其免許ヲ受クルニ  
非ラサレハ隨意ニ引取ルヲ得ス關稅法第  
三十四條故ニ急遽搬送  
ヲ要スル場合ト雖モ必ス税關官吏ノ認許ヲ經ルヲ要  
ス

ハ私物品ハ検査ノ結果其品目數量ニ應シ關稅ヲ賦  
ス

課セラル、コトアリ (關稅法)

稅關ハ植物ヲ害スル菌類又ハ虫類取締ノ爲輸入植物ニ對シ特ニ嚴密ナル検査ヲ施行ス其品目概要次ノ如シ

大正三年三月二十五日法律第百一號輸入植物取締法及大正三年十月農商務省令第百七號輸入植物取締法施行規則

一 植物及其ノ部分品ニシテ栽植培養ノ用ニ供スルモノ  
二 種子地下莖及根ニシテ繁殖植ノ用ニ供スルモノ  
三 根莖類ノ果實

ニ馬鈴薯等

第二 通關ノ爲參考事項

一 輸入禁制品ノ主要ナルモノ次ノ如シ 關稅法  
二 阿片及其具吸煙具

ロ公安又ハ風俗ヲ害スヘキ書類、圖畫、彫刻物其他ノ  
物品

ハ特許權、商標新案權、意匠權、及著作權ヲ侵害  
スル物品

ニ黃燐マツチ(大正十年四月十日法律第六十一號黃燐燐寸製造禁止法)

三 通關關係ノ罰則中參考トナルヘキ主ナルモノ次ノ如シ

一 輸入禁制品ノ輸入ヲ圖リ又ハ其輸入ヲ爲シタル者ハ  
犯罪ニ係ル貨物ノ原價ニ相當スル罰金又ハ料料ニ  
處シ其ノ貨物ヲ沒收ス但シ他ノ法律ニ於テ別ニ刑ヲ

定メタルモノハ此ノ限リニ在ラス關稅法第  
七十四條

二 關稅ノ逋脱ヲ圖リ又ハ關稅ヲ逋脱シタルモノハ其ノ逋脱  
ヲ圖リ又ハ逋脱シタル稅金ノ三倍ニ相當スル罰金又ハ料  
料ニ處シ犯罪ニ係ル貨物ヲ沒收ス關稅法第  
七十五條

ハ政府ノ命令又ハ許可ヲ受ケスレテ煙草ノ輸入ヲ圖リ  
 若ハ其輸入ヲ爲シタル者ハ其煙草ノ價格ノ十倍ニ相  
 當スル罰金ニ處シ其ノ煙草ヲ沒收ス但シ其罰金額  
 ハ百圓ヲ下ルコトヲ得ス(煙草專賣法第卅七條)

ハ免稅通關ヲ許可セシタル煙草ヲ他ニ讓渡シタル者ハ  
 五圓以上百圓以下ノ罰金ニ處シ其犯罪ニ係ル煙  
 草ハ之ヲ沒收ス(煙草專賣法第五十四條)

ホ輸入ヲ禁止セシタル植物又ハ病菌、害虫ノ附着セル  
 植物ヲ輸入シタル者ハ十圓以下ノ罰金ニ處ス

(輸出入植物取締法第廿一條)

ハ檢疫ヲ受ケサル家畜ヲ輸入シタル者ハ五百圓以下ノ罰  
 金ニ處ス(家畜傳染病豫防法第廿六條)



ト黄燐燐寸ヲ輸入シ又ハ輸入ノ目的ヲ以テ所持スル者ハ  
一年以下ノ徵收スハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス(黄燐燐寸製法禁止法第1條)

一四 關稅ヲ免除セルルヘキ主ナルモノ次ノ如シ

イ 恩賜ノ煙草

ロ 在外部隊ヨリ送還スル軍需品及個人ノ還送品

ハ 旅客ノ用品及旅客ノ職業上必要ナル器具

但シ旅客ノ身分ニ相當スルモノニシテ稅關ニ於テ適當ト

認定シタルモノニ限ル

ニ 煙草ハ左記ノ範圍内ニ限リ免稅セラル明治四十年文部省官  
事業部長通牒第四三四号

葉卷煙草 五〇本

紙卷煙草 一〇〇本

刻煙草 三〇本

粉	煙草	三〇匁
板	煙草	三〇匁

以上ノ煙草ニ種以上混合ノ場合ニハ各種ニ付前記數量ノ二分ノ一以内トス  
但シ前項ハ税関ノ内規ニシテ各人免税ヲ主張シ得ルモノニ非ラス

附表第一

備考	第四號		第二號	第一號	管轄法	隊屬貨物品目員數表	歩兵第 聯隊第 中隊
	靴下	編上靴	匣帽	軍衣	目員數		
本表ハ一輸送船ニ乗船シタル中隊本部司令部(師團司令 部ハ各部各ハ)其他之ニ準スル部隊各ニ調製シ輸送指 揮官ニテ取纏メ總關ニ差出スモノトス	一〇〇	四〇	一〇〇	五〇	員數	個	要
	足	足	個	個			

附表第二

考 備	軍用 行李				箱 詰		外 装 区 分	私 物 品 品 目 負 数 表	生 兵 第 一 聯 隊 第 一 中 隊
	書 籍	絹 細	浴 衣	軍 衣 袴	砂 糖	菓 子	品 目 負 数		
本表ハ一輸送船ニ乗船シタル中隊本部司令部(師團司令部各部毎ニ)其他之ニ準スル部隊毎ニ調製シ輸送指揮官ニテ取纏メ税關ニ提出スルモノトス	一五	一	二	一	五	一〇	單位		
	冊	反	着	着	斤	箱	價格	官 等	
	三〇〇〇	八〇〇	二〇〇	三〇〇	〇八〇	二〇〇		氏 名	
			步兵曹長			莫大尉			
			何 某			何 某			

備考		煙						草		其ノ他ノ物		官等氏名		
品目	種類	数量	單位	品目	数量	單位	品目	数量	單位	品目	数量	單位	官等	氏名
空ノ葉卷		一〇	本	寫眞紙	一	冊	五〇〇〇							
ヤング	刻	一五	枚	ドンス	一	冊	三〇〇〇							
ウエスト	両切	五	本	ウイスキー	一	本	四〇〇							
シスター				砂糖	二	斤	一〇〇							
				毛皮	一	枚	一〇〇〇							
				ヒスイ	一	個	三〇〇							

野砲兵第 聯隊第 中隊

砲兵尉 何 某

一本表々各人毎ニ調製シ受檢ノ際各人ヨリ檢閲吏ニ差シ出ス  
モトス  
ニ煙草ハ上欄ニ區分明記スルモトス

1223

附録第二

輸送ニ關スル注意事項

第十二師團司令部

輸送ニ關スル法章專項目次

其一 鐵道輸送ニ就テ

其二 船舶輸送ニ就テ

附錄第一 輸送指揮官ノ輸送命令作爲ノ一例

附錄第二 停車場司令官業務ノ一例

其 一 鐵道輸送ニ就テ

一、輸送軍紀ノ嚴正

鐵道輸送ハ一小事故ト雖モ逐次他ニ波及シ列車ノ發着、車輛ノ運用等ニ支障ヲ及ホシ全般ノ輸送ヲ攪亂スルノ虞大ナリ故ニ被輸送部隊ハ特ニ輸送軍紀ヲ嚴守シ鐵道職員ノ職責ヲ尊重シ苟モ發車ヲ遲延セシムヘキ原因ヲ惹起シ或ハ之ヲ遲延セシムルカ如キ要求ハ嚴ニ之ヲ避ケサルヘカラス

一、輸送指揮官ノ暇務

從來發車遲延ノ原因ハ輸送指揮官ノ乘車（搭載）準備ニ關スル部署迅速的確ヲ欠キ特ニ先行ノ機ヲ失スルカ或ハ乘車（搭載）及車輛入換所要時間ニ關スル認識不足ニ因由スルモノ尠カラス故ニ輸送指揮官ハ陣中要務令第五三一第二項ニ基キ戒ルヘク速ニ（成シ得ル限り輸送實施前日）停車場司令部ニ先行シ各諸官



ノ指示ヲ受ケ的確ニ乗車ニ關スル部署ヲ定メ軍隊ノ準備ニ必要ナル時間ノ餘裕ヲ得シメ以テ實施ノ敏速確實ヲ期スルコト必要ナリ

從來一般ニ輸送業務ヲ輕視シ輸送指揮官單ニ代理者一名名（甚シキハ下士官）ノミヲ先行セシメ又ハ全般ノ輸送ヲ考慮スルコトナク單ニ自己部隊ノ便否ニ執着シ停車場司令官ノ決定セシ諸條規ヲシテ履行不確實ニ陥ラシムルカ如キコトアリ  
輸送指揮官ノ輸送ニ關スル命令ノ一例附録第一ノ如シ

### 三、輸送事務ノ交渉

軍隊及鐵道機關一致協力シ以テ輸送ノ圓滑ヲ期スル爲軍ノ鐵道機關ニ對スル要求ヲ一途ニ出テシメ且鐵道職員ノ職責ヲ尊重スルコト必要ナリ之カ爲停車場司令官ハ輸送業務ニ關シ輸送指揮官ト驛長トノ交渉ヲ仲介シ陣中要務令ノ主旨ニ基キ兩者ノ直接

接衝ヲ避ケシメ又相互ノ職域以外ノ事項ニ干涉スルカ如キコト  
アルヘカラス

停車場司令官業務ノ一例附録第二ノ如シ

#### 四 乗車搭載

乗車搭載ハ迅速機敏ニ實施スルト共ニ停車場司令官ノ要求ニ基  
キ積極的ニ鐵道職員ヲ援助スルモノトス

1、人員搭載ニ就テ

イ、車輛毎ニ車長ハ兵員ニ先チ乗車シ車輛ノ中央安スレハ腰  
掛ニ上リ兩入口ヨリ乗車シ來ル兵員ヲ速ニ座席ニ着カシム  
ルヲ要ス

ロ、銃ハ二挺宛上帯ノ下部ヲ網櫛ニ托シ床尾銃ヲ腰掛上ニ置

クコト

ハ、背襲ハ四個ノ内一個ヲ腰掛下ニ入レ他ハ其上部ヲ網櫛ノ

奥ニ飯盒ヲ上ニシテ重ヌルヲ可トス

### 2、馬匹

イ、馬匹搭載ノ爲要務令第五四二第二項ニハ反對側ノ車扉ヲ閉鎖スル如ク規定シアルモ車内ノ暗黒ニ起因スル馬匹ノ恐怖心ヲ去ル爲採光ヲ顧慮シ若干（約十五纏位ニシテ馬匹頭能ノ入ラサル程度）開放シ置クヲ可トス

ロ、驛馬ヲ稼メ各車ニ適當ニ配置シ某車輛配當馬匹ノ大部カ偶々搭載ヲ嫌フタメ搭載終了時間ヲ遅延スルカ如キコトナキ様注意スルヲ要ス

ハ、搭載ヲ嫌フ馬匹ハ平時最寄驛ニ就キ馴致シ置クヲ可トス

ニ、監視兵ハ喫煙ヲ嚴禁ス之レ火災ヲ起シ不應ノ危害ヲ生スレハナリ

### 3、砲車及材料

イ、飽重其他材料ノ搭載基準ハ勤務令ニ明示セラレアルヲ以

テ豫メ研究實施シテ遺漏ナキヲ明スルヲ要ス

其二 船舶輸送ニ就テ

別冊陸軍運輸部發行ニ係ル船舶輸送ニ關スル參考ヲ孰讀シ萬全ヲ期スルヲ要ス

（以下は非常に淡く印刷された本文が続き、内容はほとんど読み取れない）

附録第一

輸送指揮官ノ輸送命令作爲ノ一例

某列車輸送部隊命令

(一)、、隊ハ明、日、、列車(輸送計畫番號)於月、日、時、分

ヨリ、、ニ輸送セラル

豫ハ輸送指揮官ヲ命セラル

(二)左記ノ如ク各搭載掛ヲ命ス

人員乗車掛 某中尉

馬匹一搭載掛 某中尉

材料搭載掛 某中尉

(三)各掛ハ左表ニ基ク人員ヲ區暑シ勤務ニ服スヘシ

備考	搭載掛		馬匹		乘車員		勤務區分	差出部隊
	搭載掛	材料	搭載掛	馬匹	乘車員	乘車員		
一、助手ハ下士官若クハ上等兵トス 二、馬積車監視兵ノ勤務ハ馬匹搭載掛ニ於テ規定スルモノトス	使役兵	助手	使役兵	助手	使役兵	助手	本聯	大隊
							員數	1
								2
					省			3
					略			4
								MG
								iA
								計
		午前 荷積 ホーム		午前 馬 繫 場	午前 兵 員 乘 車 場	午前 乗 車 場		集合時刻及場所
		時迄ニ		時迄ニ	時迄ニ	時迄ニ		

(四)各機關銃中隊、歩兵砲隊ハ某ノ指揮ヲ以テ午前、時迄ニ  
 荷積ホームニ集合シ材料搭載掛ノ指示ヲ受ケ材料及荷物ヲ却  
 下整理シタル後馬匹ヲ、ヲ經テ午前、時迄ニ馬繫場ニ  
 牽連シ馬匹搭載掛ノ指示ヲ受ケヘシ  
 馬匹搭載後ハ各隊人員ハ集合場(附圖參照)ニ到ルヘシ

(五) 各隊ハ午前、時迄左圖ノ如ク集合スヘシ

但乘馬ハ停車場到着後速ニ、ヲ經テ馬繫場ニ牽連シ馬匹  
搭載掛ノ指示ヲ受クヘシ

(六) 第、中隊ヨリ停車場衛兵トシテ下士官一、兵、喇叭手一  
ヲ午前、時迄ニ停車場ニ差出スヘシ

其配置ニ關シテハ現場ニ於テ示ス

(七) 豫ハ午前、時停車場司令部ニ在リ

午前、時命令受領者ヲ出スヘシ

下達法

印刷セルモノヲ交付シ別ニ乘車驛ニ要圖ヲ貼付ス

## 附錄第二

停車場司令官業務ノ一例

1 停車場司令官ト隊長トノ協定事項

イ 人馬物件ノ乗降積載場

ロ 電隊集合場、馬警場及構内通路

ハ 搭載時間ノ制限等

ニ 衛兵ノ配置及守則

(衛兵ノ任務ハ混雜及危險ノ防止、機秘密ノ保持トス)

2 以上ノ協定ニ基キ乗車規定ヲ作爲ス

其要領左ノ如シ

、、乗車規定

(一) 本規定、、ニ於ケル乗車ヲ規定スルモノトス

(二) 停車場要圖別紙ノ如シ



(本要圖ハ兵員停車場、反荷物ホーム、軍隊集合場、馬糞場、便所)  
(構内通路、衛兵配置豫定位置等ヲ洩レナク記入スルコト)

(三)車輛配給ニ關スル件左表ノ如シ

(兵員用車輛、馬積貨車、荷積貨車ノホーム進入時刻並ニ列車編成ノタメホ  
ム引上時刻並ニ列車編成ノタメホーム引上時刻ヲ各列車毎ニ明示スルコト)

(四)輸送指揮官ハ午前、時迄ニ左ノ如ク停車場衛兵ヲ配置スル

モノトス

イ 編成

ロ 配置要領

ハ 特別守則

尙參考ノ爲停車場司令部業務ニ就附記ス

1 司令部事務所ハ乘車軍隊及驛長ト交渉ニ便ナル爲驛長應接

室又驛長室附近ニ獨立セル一室又ハ建物アレハモ可ナリ

宿舍ハ驛構内俱樂部若クハ旅館民家ヲ可トス

事務所ニハ、、、、停車場司令部ノ標識ヲナシ連絡者ノ發見

ニ便スルヲ可トス

2 軍用車輛其他材料ノ點檢

イ有蓋貨車ノ掃除消毒、破損箇所ノ有無等

ロ馬匹ノ踏板、砲重固定ノ木楔、釘、網等（之等ハ鐵道ニテ準備

スヘキモノナレハ不備ナル點ハ要求スルヲ要ス但馬搭載用ノ網ハ軍隊ニテ準

備スルコト

3 其他軍用輸送隊ノ處理危害ノ豫防、給養、輸送詳報ノ提出（

乗下車規定車輛及輸送材料ノ景況乗下車軍隊及軍需品ノ景況

給養實施ノ概況、其他參考トナルヘキ所見、本詳報ニハ輸送

實施表ヲ附ス）